

新基地建設反対名護共同センターニュース

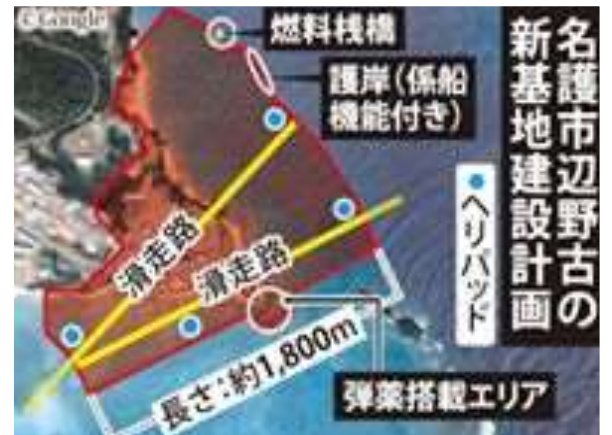
“大きな力に負けないで声を上げ続けましょう！” 「辺野古障がい者のつどい」へ加藤登紀子さん

県民投票で「埋め立て反対に○」の
圧倒的民意を安倍政権に突き付けよう！

1945年、敗戦を契機に
戦争をしない決断をした
日本人のひとりとして、
これ以上の基地を沖縄に
つくることは反対です。
普天間の滑走路を移すため
なら、こんな大規模な基地は
いらぬはず！
大きな力に負けないで
声をあげつづけましょう！
世界中の平和を願って、
加藤登紀子 2019.2.6

1945年、敗戦を契機に戦争をしない決断をした日本人のひとりとして、これ以上の基地を沖縄につくることは反対です。普天間の滑走路を移すためなら、こんな大規模な基地はいらぬはず！大きな力に負けないで声をあげつづけましょう！世界中の平和を願って、加藤登紀子 2019.2.6

2019年「辺野古障がい者のつどい」が3月2日にゲート前で開催されます。実行委員会が多くの方に連帯のメッセージを要請していますが、このほど歌手の加藤登紀子さんから自筆のメッセージが実行委員会に送られてきましたので紹介します。



屋良朝博氏が名護で講演会

衆議院沖縄3区補選(4月21日投票)の予定候補・屋良朝博氏(写真)の講演会が10日、名護市内で行われ約150人の市民が参加しました。稲嶺進前名護市長が開会あいさつし、屋良氏が講演。屋良氏は長年のジャーナリストとしての豊富な体験と取材をもとに「在日米軍基地が日本全体の70%も沖縄におかれている歴史的経過や安倍内閣の理不尽で不法な辺野古新基地建設強行の実態を報告。当面の県民投票で新基地建設反対の圧倒的民意を示すことが重要」と強調しました。やんばる県民投票連絡会から16日の「道じゅねー」の参加が呼びかけられました。

「違法工事中止せよ！赤土を運ぶな！」と抗議

大浦湾で抗議船3隻とカヌー11艇 ドイツの国営放送が取材

大浦湾では12日、抗議船3隻とカヌー11艇でK9護岸から台船から赤土を陸揚げする現場で抗議行動を展開しました。抗議船うまんちゅ号から仲本興真船長は「違法工事を直ちに中止せよ！」「違法な赤土投入で大浦湾を破壊するな！」と抗議の声を上げました。この日、ドイツの国営放送の記者4人も抗議船に乗り込み取材しました。「辺野古」は今や国際問題として日々世界に広がっていることが実感させられた抗議行動でした。



大浦湾に浮かぶ台船の上には、ダンプ340台分の赤土が運ばれていました。